

令和7年度 ウェルカムミーティング 会議概要録

- 開催日時 令和7年11月13日(木) 10時50分～11時20分
- 開催場所 長沼町役場 町長室
- 出席者 マワリテメクル展 吉川氏  
齋藤町長、塩浜副町長、八柳教育長、青野政策推進課長

|          |  |
|----------|--|
| 青野政策推進課長 | <p>過去にながぬま創生町民提案プロジェクトを行った団体の方たちにお声かけをさせていただき、行ってきた事業の成果や、課題感についてお話をさせていただき、また町政に対する提案などもお聞かせいただけるとありがたいという思いから、ウェルカムミーティングという形で懇談会を開催いたしました。限られた時間ですが、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>マワリテメクル展さんは、木工作家の都築さんを中心に色々と事業をしていただき、アート協会に属していない町内のアーティストの掘り起こしにも寄与していただいたかと思ひますし、吉川さんに関しては別の事業において中心市街地での展示ということも行っていましたので、これらを通してやってよかったと思う事や成果、こんなことやった方がよかったかなという課題感などについて教えていただければ幸いです。</p>   |
| 吉川氏      | <p>マワリテメクル展の名称は、カタカムナ語から引用しているんですが、日本のすごく昔の言葉で、みんなで相乗効果というか、いろんなことが巡って行って、いいものを生み出していこうというような意味が含まれているんです。</p> <p>都築さんは木工作家で、昔農家さんが使っていた納屋を工房にしているんですが、元々大工さんをしていた方なので、自分で床も張って自作の家具を展示するギャラリーを作っていました。ただ、それほど宣伝もできてないということで、お客さんの流れが十分にできていませんでした。せっかく作ったギャラリーなので、いろんな方に場所を知っていただけたらいいんじゃないか、複数人間でやるともっと人に伝わるんじゃないかということで、展示会の話がでました。私はこちらの補助金を利用して、2年間事業をやらせてもらった経験があったので、この展示会も申請ができるのではないかとということで企画をしました。展示会は都築さんと私と、もう1人札幌在住の画家の方を呼んで4日間で行いました。展示会の最中にライブも企画して、都築さんと私と、農家さんで自然農法をされている玉城さんって方が三線を引くのでその方と、あと昆田さんというピアノを弾く方を呼んで、みんなで演奏して、さらに画家の方の絵本を紙芝居にして朗読し、それで音楽も入れるっていう事をしましたら、都築さんのギャラリーの前の広場にもう70人ぐらい人が来て想定していないほど賑わいました。長沼にはいろんなお店があるので、町外からお越しになった方にも長沼の魅力が伝えられるようNAGANUMAPを会場で紹介しました。</p> |
| 青野政策推進課長 | <p>長沼町が持つ緑豊かな田園風景の魅力というのはよく言われておりますが、そこにアート協会に属していないアーティストの方たちも入った中で、そして音楽活動の部分とかも通じて行っている。来場者には札幌圏の人たちも多かったと思うんですけども、すごく魅力発信につながったのではと思います。</p>   |
| 齋藤町長     | <p>人がいっぱい来たんですね。</p>   |
| 吉川氏      | <p>いっぱい来ましたね、予想以上に。事前に私たちの作品の写真や地図、あとライブもありますよということを書いたダイレクトメールを500枚ぐらいは印刷して、お店に置いてもらったり、個人で送ったり、また各々Instagramなどをしているので、それを見て来てくださった方が多そうでした。</p>  |

|          |   |
|----------|---|
| 塩浜副町長    | 作品は販売もされていたんですか？  |
| 吉川氏      | はい、販売もしました。   |
| 齋藤町長     | 飲食関係も少しあったんですか？   |
| 吉川氏      | 飲食はしてないですね。   |
| 塩浜副町長    | 客層というか年齢層はどういう感じでしたか？   |
| 吉川氏      | 年齢層は、20代はそんなにいませんでしたが、80代から30代まで、子連れの方も若干いて、幅広くいろんな方に来ていただきました。   |
| 青野政策推進課長 | ライブも企画されたということですが、楽器の演奏もされるんですね。  |
| 吉川氏      | 長沼の幌内にポエティカというホールがあって、そこに横浜在住のピアニストでジャクソンさんという方がよく滞在しているんですけど、いろんな楽器をする人と知り合いたいということで、アイヌのトンコリを作って演奏される二宮さんと知り合い、さらにディジュリドゥというアボリジニが奏でる笛のような楽器を演奏する都築さんや、お琴を弾くホロナイクリニックの先生の娘さんとも知り合い、一緒に演奏するようになりました。 |
| 青野政策推進課長 | 次に視点を変えて、実際事業を行ってみて、課題というか、こういうところをもっとやった方がよかったかなということなどはありますか？   |
| 吉川氏      | 大成功すぎて、あんまり…… 宣伝もちゃんと行き渡っていて、補助を受けたおかげで都築さんの工房の一階奥にある車庫のようなスペースも絵を飾れるようにでき、大分ギャラリーのようにできたかと思います。本当に大成功だったんです。   |
| 青野政策推進課長 | 補助金を有効に使っていただき、大成功と言っていただければ、ありがたいという言葉しかありません。   |
| 吉川氏      | 作家って展示会とか個展をやるとき、作品の売り上げから場所代やはがき代、材料費など引いたら、あれっ？……こんなに何か月も頑張ったけど、まあね、そうだよ、生きていくのは大変……みたいな感じなんですけど、補助金のおかげで500枚のダイレクトメールを印刷させていただけましたし、木材やライトを買ってギャラリーの整備もできましたので、こんな素敵な制度があってありがとう長沼町と思いました。         |

齋藤町長

(事業を) 継続してもらえたら嬉しいです。

吉川氏

同じメンバーで定期的に行うとなると、客層も似たり寄ったりになり、一回見たからいいかなというふうにもなるので、また新たなことを私たちも考えて、ああ、あそこでやるならまた行きたいって思ってもらえるような新しい企画を考えないといけないというのが課題といえば課題ですね。一回目は本当に大成功だったんですけども、それを続けていくということが一番大変だと思います。やはり、マンネリしていくときに、お客さんを飽きさせない、そういう努力とか、企画やアイデアがすごい重要になってくるかなって思います。

齋藤町長

確かに、そういうのは企画が難しいですね。

塩浜副町長

ちなみに年間通して出展というか個展とかで、個人でなんか出したりということはされているんですか？

吉川氏

はい、札幌でやったり道外もあります。作品だけ送ってくれたら販売しますよっていうところもあり、自分が行ってその場に立つのが一番いいと思いますが、まあ経費もかかりますし、お店側がそう言ってくれるなら、お任せして物だけ送るということもあります。

齋藤町長

常設のお店とかはあるんですか？

吉川氏

店頭に置かないか？とお声がけいただくんですが、でも置いてないんですね。やはり数を見てほしいというか、私の帽子はデザインが渋いものから派手なものまでいろいろあるので、一気に数を見て選んでいただきたいんです。

塩浜副町長

全部手作りなんですか？自分から設計なども全部。

吉川氏

そうですね。フェルトから作るんですが、ハイジ牧場からいただいた毛とか、外国の毛などから、編むとか、織るでもないし、糸にしてからではなく、フェルトって本当に毛からなので、結構体力が要ります。

塩浜副町長

帽子は作成に何日ぐらいかかるんですか？

吉川氏

よく言われる質問なんですけど、何日ですってあんまり答えられないんですね。染めたりもしますが、それをこの1個の帽子のためにやってるわけではなくて、染めるときはいっぱい染めるし、毛もいっぺんに洗うし、何日なんでしょう？という感じなんです。

|          |  |
|----------|--|
| 塩浜副町長    | 北海道に帽子作家さんって何人くらいいるんですか？   |
| 吉川氏      | 把握していませんが、同じフェルトの帽子だけっていうのはあまり聞かないですね。あと私がやっている、布と羊毛を合わせた布フェルトというのは、北海道ではまだあまりいないので珍しがられます。  |
| 齋藤町長     | こういう技術って何か学校とかで学ばれたんですか？   |
| 吉川氏      | 一応デザイン学校に通っていて、その後いろんなものづくりに携わりました。少し習ってその後ずっと独学でやっています。あと、福祉施設で陶芸やフェルトを教えた期間が結構あって、知的障がいがある方と一緒に作りやすいコースターとか、そういうの一緒に支援員として教えていて、退職して自分の活動を始めました。   |
| 青野政策推進課長 | アーティスト活動には意外とお金がかかるんだというところを知りました。この補助金が有意義に活用されていてよかったと思います。  |
| 齋藤町長     | ちょっと心配だったんです。どうかな、役に立つんだろうかって。   |
| 吉川氏      | とても役に立っていて、ありがたいです。  |
| 青野政策推進課長 | 皆さまが実施された事業で多くの方たちが長沼町を訪れて、接客された際に長沼町のいいところを宣伝していただいたものと思っています。いま住んでる人には、できれば自慢してもらいたいです。どうして長沼町に住んだのかっていうこととか。ロケーションが良くて、芸術作家さんたちがたくさんいて、横のつながりがあるっていうことはよく言われますが、行政側の発信だけでは物足りないかと。やはり実際に住んでいる人たちが言うことは、リアリティーがあって、親和性があるというか、心に響くのかなと思っています。私たちは補助金という形で皆様方の事業を応援させていただいておりますけれども、実施されたイベントによる宣伝効果というかPR効果というのは、補助金額以上のものがあります。また、今のように感謝の言葉などをいただけますと、町長をはじめ私たちとしてもすごく嬉しいです。 |
| 吉川氏      | 私は田舎に住むのが憧れで、田舎というか自然豊かなところにいつか住みたいと思っていました。札幌はどんどんビルなどが建って、空が狭く、月も見えない。そういうのが自分にとっては苦しくて、もっと空が広いところに住みたいなってずっと思っていて、やっと引っ越せたんです。なので、これ以上都会っぽくなってほしくないという思いがあります。  |

|          |  |
|----------|--|
| 青野政策推進課長 | <p>長沼町の良さは緑豊かな田園風景なので、そこを大切に、選んで来ていただいた方たちの幸せを第一に考えていきたいと思っています。一方で、事業などを行おうとする企業などの参入もありますが、事業内容などの情報をオープンにして、住んでいる人たちの意見集約をしながら進めて行く形がベターかと。オープンな中で、行政としても調整的な行政指導など行ってまいります。なかなか納得できない部分もありますが、コミュニケーションを通じて折衷案などが生まれるものと思いますので、なるべくお互いの幸せをお互いに願っていただきながらと思っています。そのために町長の指示のもと、我々は全力で調整などさせていただきたいと思っております。</p> |
| 吉川氏      | <p>本当にいろんな気持ちがありますからね。都会とは違う田園風景とか自然から私もインスピレーションを受けていて、自分にとって生活の中で大切なことなので、最近ドキドキしています。風景が壊れて、どんどん自然がなくなったら怖いなって。ソーラーパネルも怖いです。よそから来る人もたくさん太陽光パネルができていることに結構みんな驚いています。</p>   |
| 青野政策推進課長 | <p>財産の権利では、土地の所有者の意向もあります。高値で売りたいというのも理解できますが、大規模な太陽光発電事業は自然破壊や生態系の変化など難しい問題です。国が進める再生可能エネルギーの柱でもあります。問題も露呈しておりまして、景観も踏まえて法律での規制を国では考えているようです。自治体の条例では、土地所有者の財産権を侵害するわけにもいかず限界があります。法律でしっかりとゾーニングや規制などしていただきたいかと。</p>  |
| 吉川氏      | <p>そして恐ろしい速度じゃないですか。多少住民の反対とかでなくなった話も聞くと、もうしょうがないと言ってられないという思いと、スピードの速さに諦めのような感覚もあります。</p>   |
| 青野政策推進課長 | <p>個人的な意見ですが、小規模であったとしても、環境アセスメントなどを確実に行ってもらい、住民同意の部分で明確な基準を国の方で指針として決めていただければと思っています。条例で作ろうと思っても、やはり限界があり難しいです。</p>   |
| 吉川氏      | <p>ものづくりする人間が、長沼町のようなまちに多いのは、みんな制作するときは1人の世界なんですよね。周りの環境が本当に大切に、作っているときは周りの自然とか、そういうものがすごく味方してくれながら作っているから、ものすごい重要で、そのために引っ越してきたみたいなのがあります。</p>  |
| 青野政策推進課長 | <p>先ほど申し上げたとおり、緑豊かな田園風景、そして景観の部分に関しては守ってまいります。また、そこから生まれる芸術作品というものに補助金が少しでもお役に立てたということ、今日は改めてお話しいただいたことを幸せに思っています。ありがとうございました。</p>   |